

第5学年 外国語学習指導案

平成29年 6月23日(金) 2校時
 男子5名 女子5名 計10名
 指導者 教諭 片岡 祐希
 JTE 神山 美奈

- 1 単元名 “How many?” ～How many?クイズを作ろう～
 (“Hi, friends!”Lesson3 参照)
- 2 単元の目標
 - ・積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。
 - ・1～20の数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。
 - ・言語には、それぞれの特色があることを知る。
- 3 単元評価規準
 - ・進んで数を数えたり、尋ねたりしている。(コミュニケーションの関心・意欲・態度)
 - ・1～20の数や数を尋ねる表現を聞いたり、言ったりしている。(外国語への慣れ親しみ)
- 4 表現
 How many pencils? Five pencils.
 cat, dog, ball, pencil, apple,
 one, two, three, ..., twenty
- 5 本単元に設定する言語活動
 1～20の数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しみ、数に関するクイズ作りをする。
- 6 指導計画(全 4時間 本時 2/4)

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	評価規準<方法>
1	英語でのものの数え方の特色を知り、1～10の数の言い方に慣れ親しむ。 【P1】「じゃんけんゲーム」勝ったら○、負けたら×、あいこなら△を書き、○の数を数える。 【L】音声教材で1～10の数を聞いて、それがどこの国の言葉かを考える。 【P2】誌面の絵を見て、鉛筆、車、犬、猫、りんごなどの数を数える。 【C】“How many balls?” ○キーナンバーゲーム		○	○	・いろいろな国の言語を聞いて、その特色に気付いている。 <行動観察・振り返りカード> ・1～10の数を聞いたり、言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード>

2 (本時)	<p>11～20 の数の言い方を知り、慣れ親しむ。</p> <p>【P1】「じゃんけんゲーム」勝った数を前回と合わせて数える。</p> <p>【C】“How many balls?”</p> <p>○キーナンバーゲーム</p> <p>○ビンゴゲーム</p> <p>○数字を順番に答える。</p>	○	○	<p>・ 11～20 の数を聞いたり、言ったりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード></p>
3	<p>数の尋ね方を知り、慣れ親しむ。</p> <p>【C】“How many balls?”</p> <p>○キーナンバーゲーム</p> <p>【A1】誌面の絵を1分間見て閉じ、果物や動物の数を予想して言う。実際に数える。</p> <p>【A2】誌面のかごのりんごの色を塗り、自分の持つりんごの数を決める。友達とりんごの数を尋ね合い、同じりんごの数を持った仲間を見付ける。</p>	○	○	<p>・ 1～20 の数を聞いたり、言ったりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード></p> <p>・ 自ら相手を見付けて数を尋ねたり、答えたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード></p>
4	<p>積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。</p> <p>【C】“How many balls?”</p> <p>【A1】グループで数に関するクイズを作る。</p> <p>○「クイズに答えよう」作成したクイズをグループで出し合い、尋ねたり答えたりする。</p>	○	○	<p>・ 進んで数を数えたり、尋ねたりしている。</p> <p><行動観察・振り返りカード></p>

7 本時の学習指導

(1) 目標

11～20 の数の言い方を知り、慣れ親しむ。

(2) 授業仮説

- 繰り返し音声を聞かせ、ゲームを多く取り組み、児童自身も口に出すことで慣れ親しむことができるであろう。

(3) 展開

過程	学 習 活 動	教師の支援		備考
		HRT	JTE	
つ か む 13 分	<p>1 英語であいさつをしたり、英語の歌を歌ったりして、ウォーミングアップをする。</p> <p><u>Greeting & Question</u></p> <p>① How are you? ② How is the weather? ③ What day is it today? ④ What is the date today? ⑤ What time is it now?</p> <p><u>Let's do the phonics</u> ♪アルファベットジングル♪</p> <p>2 課題につながる場面の設定を知り、基本表現を聞く。</p> <p><u>Let's Play 1</u></p>	<p>○ 学習の雰囲気作りと本時の課題につながる学習の喚起を行う。</p> <p>○ 児童とともに、体を動かしながら行う。</p> <p>○ 前回との合計を数えさせ、本時の課題をつかませる。</p> <p>○ 自分なりの課題を考えさせる時間を確保し、ワークシートに書かせる。</p> <p>○ 児童の考えを基に課題を設定し、板書して明示する。一斉読みをさせる。</p>	<p>○ HRTと学習の雰囲気作りを行うとともに、英語のモデルとして児童に問いかける。</p> <p>○ 児童と10回じゃんけんを行い、勝った数を数えさせ、英語での1～10の言い方を確認する。</p>	デジタル教材
	<p>3 自分なりの課題を考える。</p> <p>4 課題をつかむ。</p> <p>【Today's kadai】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>11～20は英語でどのように表現するのだろうか。</p> </div>	<p>○ 自分なりの課題を考えさせる時間を確保し、ワークシートに書かせる。</p>		ワークシート
し ら べ る 7 分	<p>5 11～20の英語表現を確認する。 eleven, twelve, thirteen, ..., twenty</p> <p><u>Let's Chant③</u></p>	<p>○ JTEにどんな言い方をするのか尋ね、児童と一緒に発音する。</p> <p>○ はじめに音声教材を聞かせる。</p> <p>○ 1回目はゆっくりバージョン、2回目はふつうバージョンで行う。</p>	<p>○ 児童と英語での表現を示し、発音のモデルとなる。</p>	数字カード デジタル教材

<p>ねりあげる 13分</p>	<p>6 表現に慣れ親しむためのゲームを行う。</p> <p>Let's play the game</p> <p>(1) キーナンバーゲーム</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 児童はペアになり、向かい合って座る。</p> <p>② 2人の間に消しゴムを置く。キーナンバーになる数字を確認する。</p> <p>③ JTEが言う数字を全員で繰り返す。</p> <p>④ JTEがキーナンバーを言ったときは、繰り返さず消しゴムを取る。取った人が1ポイントもらう。</p> </div> <p>(2) ビンゴゲーム</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① ビンゴシートを配り、1～20の中から数を選んで書かせる。</p> <p>② 順不同に1～20の数を言う。</p> <p>③ “How many lines?” で多かった人が勝ち。</p> </div> <p>7 自分なりのまとめをする。</p> <p>8 課題についてまとめる。</p> <p>【Today's matome】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>11～20はeleven, twelve, thirteen, ..., twenty と表現する。</p> </div>	<p>○ JTEとデモンストレーションを行い、やり方をつかませる。</p> <p>○ 英語表現が分からなくなった時は、“Please help me.” “One more time, please.”を出すよう指示する。</p> <p>○ 机間指導を行い、困っている児童を支援したり、コミュニケーション態度の良い点を賞賛したりする。</p> <p>○ 途中で活動を一旦やめ、活動の良いところや気を付けてほしいところをアドバイスする。</p> <p>○ 自分なりのまとめを頭の中で考えさせる時間を確保する。</p> <p>○ 児童の言葉を基に板書を行い、一斉読みをさせる。</p>	<p>○ HRTとデモンストレーションを行うとともに、ゲームのやり方を英語で説明する。</p> <p>○ 机間指導を行い、困っている児童を支援したり、表現への慣れ親しみの点で良いところを賞賛したりする。</p> <p>○ 児童の表現に英語で反応する。</p> <p>○ 11～20の英語表現を思い出させる。</p>	<p>評価 【観察】</p> <p>ビンゴシート</p>

ふりかえる	9 解決結果の良さを味わう活動を行う。	○ まとめを生かして友達と協力するように指示する。	○ 児童の中に入り、英語表現の支援を行う。	評価 【観察】
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 円になりsterterを決める。 ② sterterから1から20まで順番に英語で言う。 ③ 最後まで行ったら ・スピードを速くする。 ・20から1まで言う。 ・順番をバラバラで言う。 </div>			
	12分	10 本時の学習をふり返り、自己評価を行う。	○ 学習過程をふり返り、自己評価をさせる。	○ 主に外国語への慣れ親しみの観点から賞賛を行い、次時への意欲付けを行う。
	11 英語で挨拶をする。	○ 児童と一緒にあいさつをし、本時の達成感と次時へのモチベーションを高めるようにする。	○ 英語で終わりのあいさつを行う。	

(4) 評価

○ チャンツやゲームを通して、11~20の数を聞いたり、言ったりしているか。

(5) 板書計画

sunny☀ Friday June 23rd

Today's kadai

1~20は英語でどのように表現するのだろうか。

Today's matome

1~20は

と表現する。